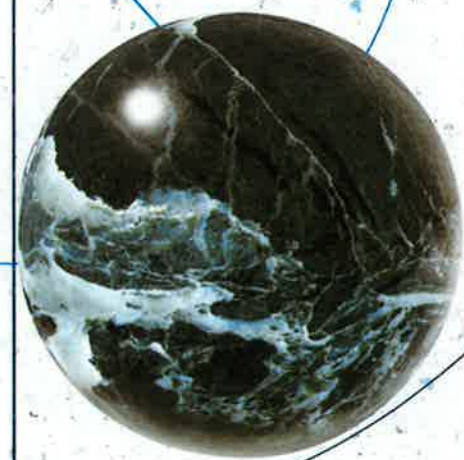
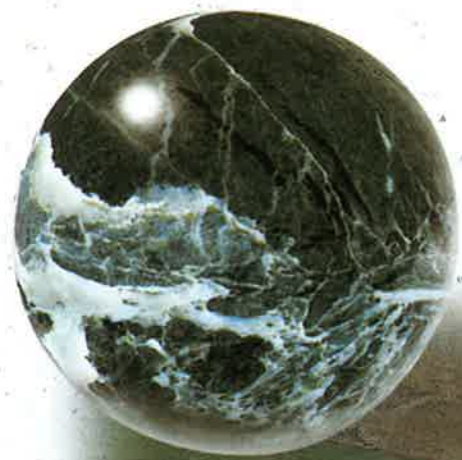


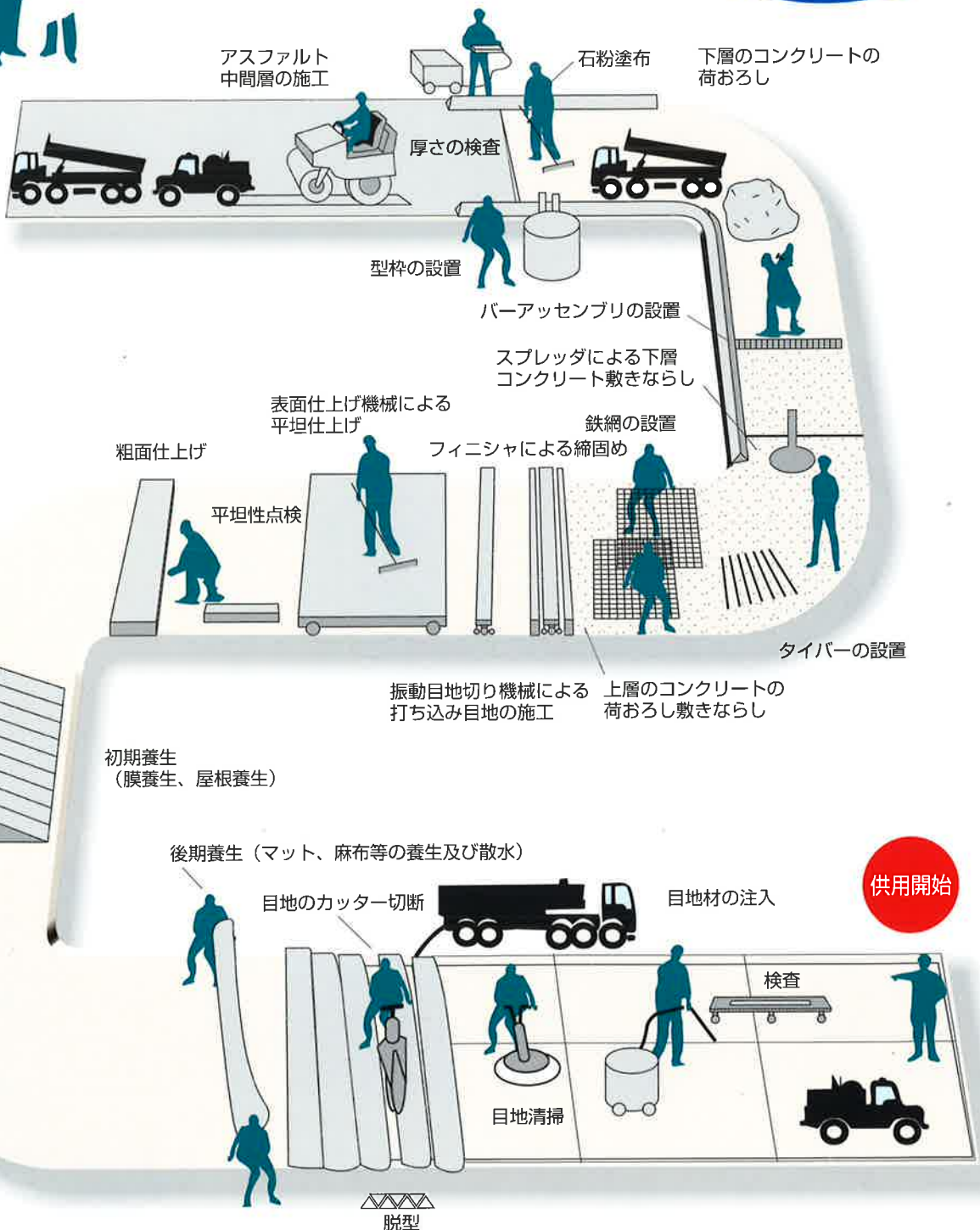
のびゆく明日への基礎を築く



コンクリート 版舗装順序例



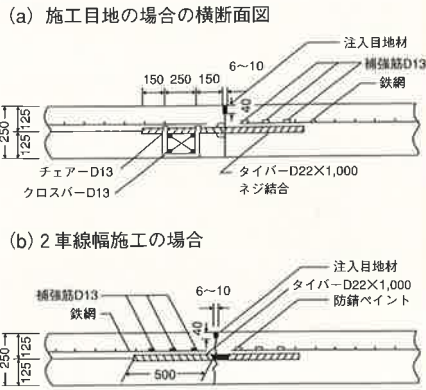
路盤工
事終
了



コンクリート版舗設順序の例

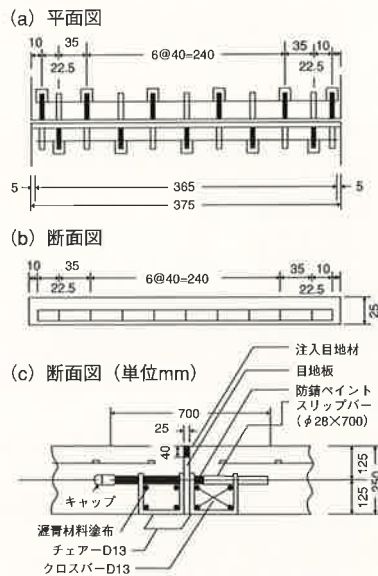
舗装要綱による設計例

縦目地の設計例



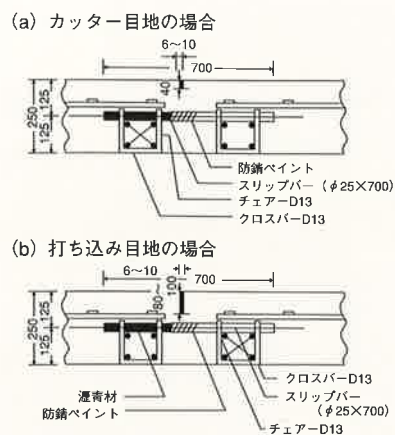
縦目地の設置状況

横膨張目地の設計例



横膨張目地の設置状況

横収縮目地の設計例



横収縮目地の設置状況

スリッパ&ソケットネジ付スリッパ

スリッパは、一般に、膨張目地、収縮目地を、横断して用いる丸鋼で、荷重伝達を図り、収縮に追随できるように、片側に瀝青材料等を塗布し、スリップできるようにしたものをいう。膨張目地に用いる場合はコンクリート版の膨張を吸収できるように片側にキャップを用いる。

スリッパ使用例

| 場 所 | スリッパサイズ | ソケットネジ付スリッパサイズ |
|-----|----------|----------------|
| 道路 | φ 25×500 | φ 25×500 |
| | φ 28×500 | φ 28×500 |
| | φ 25×700 | φ 25×700 |
| | φ 28×700 | φ 28×700 |
| | φ 32×700 | φ 32×700 |
| 港湾 | φ 25×500 | φ 25×500 |
| | φ 32×600 | φ 32×600 |
| 空港 | φ 32×550 | φ 32×550 |
| | φ 32×600 | φ 32×600 |
| | φ 38×650 | φ 38×650 |
| | φ 38×700 | φ 38×700 |
| | φ 42×800 | φ 42×800 |



スリッパ



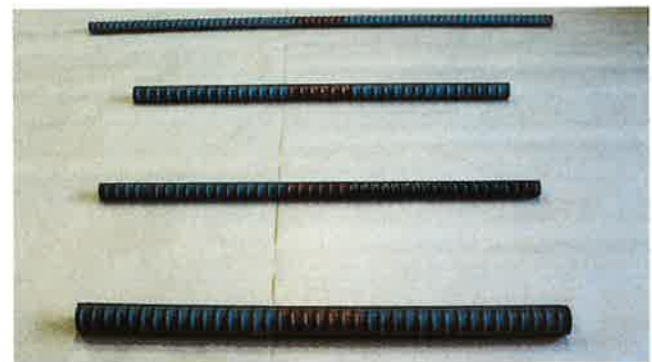
ソケットネジ付スリッパ

タイバー&ソケットネジ付タイバー

タイバーは一般に縦目地（ダミー目地、突合せ目地）を横断して用いる異形棒鋼で目地が開いたり、くい違ったりするのを防止し、荷重伝達能力によってコンクリート版の縁部を補強する高い効果があります。

タイバー使用例

| 場 所 | タイバーサイズ | ソケットネジ付タイバーサイズ |
|-----|------------|----------------|
| 道路 | D 16×1,000 | D 16×1,000 |
| | D 22×1,000 | D 22×1,000 |
| | D 29× 700 | D 29× 700 |
| 港湾 | D 25×1,300 | D 25×1,300 |
| | D 32×1,600 | D 32×1,600 |
| 空港 | D 32× 550 | D 32× 550 |
| | D 32× 600 | D 32× 600 |
| | D 38× 650 | D 38× 650 |
| | D 38× 700 | D 38× 700 |
| | D 41× 800 | D 41× 800 |



タイバー



ソケットネジ付タイバー

チェアー（溶接加工）

チェアーは、スリッパ、タイバーを均一に配列し、正しくコンクリート版に埋め込まれるように固定する役目の他、チェアーを継ぐ、クロスバーは縁部補強としての役目も含まれています。

※ チェアーの御注文の際は、舗装厚、舗装幅、使用場所等をお知らせ下さい。



ポリキャップ

ポリキャップは、コンクリート舗装に於ける膨張目地で使用され、スリッパの片側にかぶせて使用し、コンクリート版の膨張を吸収できるように使用します。



キャップの種類

| キャップ呼称 | 使用するスリッパ |
|--------|----------|
| 16×100 | φ 16 |
| 19×100 | φ 19 |
| 22×100 | φ 22 |
| 25×100 | φ 25 |
| 28×150 | φ 28 |
| 32×150 | φ 32 |
| 38×150 | φ 38 |
| 42×150 | φ 42 |



クリアーキャップ

従来ソケットネジ付タイバー、スリッパを用いる場合、ソケットのネジ部分にコンクリートが入るのを防止するためにグリース等をつめてましたが、施工を容易にできるよう開発した商品です。



キャップの種類

| キャップ呼称 | 使用するソケット ネジ付スリッパ | 使用するソケット ネジ付タイバー |
|--------|---------------------|---------------------|
| 16用 | φ 16 | D 16 |
| 19用 | φ 19 | D 19 |
| 22用 | φ 22 | D 22 |
| 25用 | φ 25 | D 25 |
| 28用 | φ 28 | D 29 |
| 32用 | φ 32 | D 32 |
| 38用 | φ 38 | D 38 |
| 42用 | φ 42 | D 41 |

溶接金網 (ワイヤーメッシュ)

電気溶接された、溶接金網は、平均的な付着性能がよいので、コンクリート版に生ずるひびわれを分散させ、なおかつ、急速に破壊しない効果があります。

用途

建築物—マンション、事務所、倉庫などのスラブ、壁
鉄道—路盤、スラブ軌条、高架部のスラブ、側壁
橋梁—橋梁のスラブ

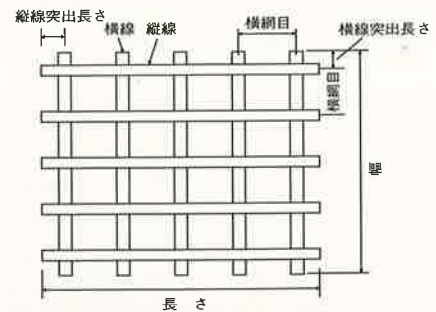
道路—コンクリート舗装、高速道路の中央離帯、側壁

空港—エプロン舗装、誘導路舗装

港湾—エプロン舗装、荷捌地舗装、取付道路舗装

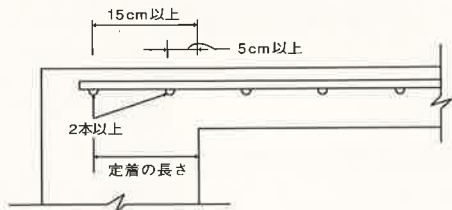


形状、寸法

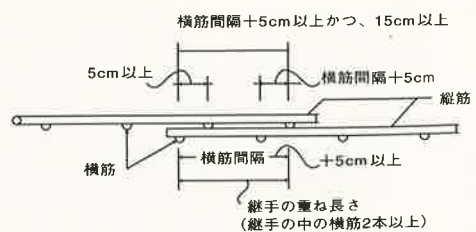


定着・断手方法

(a) 定着方法



(a) 継手方法



JISの認証書



養生剤

養生剤は、コンクリートの表面に皮膜形成するタイプと、コンクリート中のアルカリ成分と結合して、表面にアルカリ防水層を形成するタイプがあります。どちらも初期養生には適した養生剤です。

皮膜養生剤は、水の揮散によりコンクリート表面に非透水性皮膜を形成し、その皮膜により、コンクリート中の水分の揮散を防ぎセメントの水和反応に必要な水分をコンクリート中に保持することにより、養生時のヘアークラック発生を防ぎ、コンクリート強度の低下を防止します。

アルカリ防水層養生剤は、コンクリート中のアルカリ成分と結合して硬化し表面にアルカリ防水層を形成します。

コンクリート表面が速く硬化することにより、早期にマット養生が出来るのでヘアークラックの発生を防ぎ、品質の高いコンクリートの仕上がりが可能です。



養生マット

セメントの硬化養生期間中に、コンクリートが、必要とする十分な水分と温度が一定時間保持することができます。

マットのサイズは厚さ4m/m~10m/m、幅は1m、1.2m、2mがございます。



路盤紙

コンクリートと路盤との摩擦を軽減し、硬化前コンクリートへ土、その他不純物が混入したりセメントペーストが路盤に流れ込むのを防止します。

サイズは、1m×50m巻です。



目地板

目地板は、コンクリート版の膨張収縮によく順応し、膨張時にはみ出さず、収縮時には、コンクリート版との間に空隙を生じることなく、かつ耐久性のあるものがよい。

目地板の種類

- ① 瀝青繊維質系
- ② 樹脂発泡体系
- ③ ゴム発泡体系

目地板のサイズ (各種類)

厚さ 10^{mm}、20^{mm}、25^{mm}、30^{mm}

用途

道路、空港、港湾、橋梁、ダム、護岸、他コンクリート建造物すべての目地

※ いずれも切断加工も承っております。



目地材

注入目地材は、コンクリート版の膨張収縮に順応し、コンクリートによく付着し、水に溶けず、水を通さず高気温時に流れ出さず、低気温時にも衝撃に耐え、土砂等の異物の侵入を防げ、かつ耐久のものがよい。

なお、目地材には、加熱式と常温式があります。

施工上の注意

1. 目地材を注入する際は目地を十分清掃乾燥しプライマーを0.3ℓ/m²の割合で均一に塗布し、プライマーの乾燥をまって注入してください。
2. 目地材の溶解は、局部過熱をさけ間接過熱で溶解し、なお、安全加熱温度(220℃)を超えないようにしてください。
3. 目地の注入深さが30^{mm}以上の場合には、注入した目地材が冷えると収縮しますから、再度目地材を注入し補充するようにしてください。
4. 冬季における目地材の注入は、コンクリート面よりやや低目に行ってください。

高弾性タイプの100m当り所要量 (kg)

比重1.02 ロス20%含む

| 目地の幅 ^{mm} | 8 | 10 | 20 | 25 | 30 |
|---------------------|------|------|------|-------|-------|
| 目地の深さ ^{mm} | | | | | |
| 20 | 19.5 | 24.5 | 49.0 | 61.0 | 73.5 |
| 25 | 24.5 | 30.5 | 61.0 | 76.5 | 92.0 |
| 30 | 29.5 | 36.5 | 73.5 | 92.0 | 110.0 |
| 35 | 34.0 | 43.0 | 85.5 | 107.0 | 128.5 |

低弾性タイプの100m当り所要量 (kg)

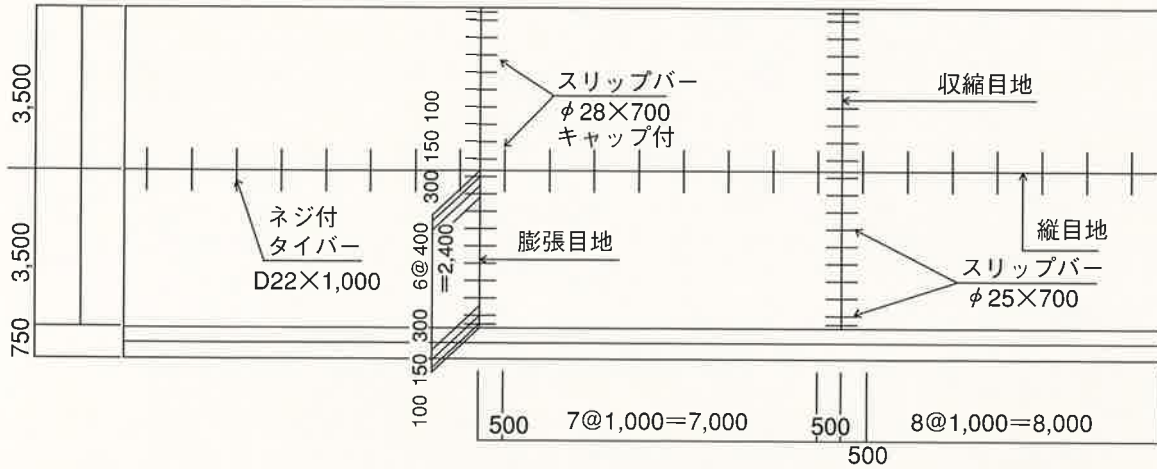
比重1.04 ロス20%含む

| 目地の幅 ^{mm} | 8 | 10 | 20 | 25 | 30 |
|---------------------|------|------|------|-------|-------|
| 目地の深さ ^{mm} | | | | | |
| 20 | 20.0 | 25.0 | 50.0 | 62.5 | 75.0 |
| 25 | 25.0 | 31.0 | 62.5 | 78.0 | 93.5 |
| 30 | 30.0 | 37.5 | 75.0 | 93.5 | 112.5 |
| 35 | 35.0 | 43.5 | 87.5 | 109.0 | 131.0 |

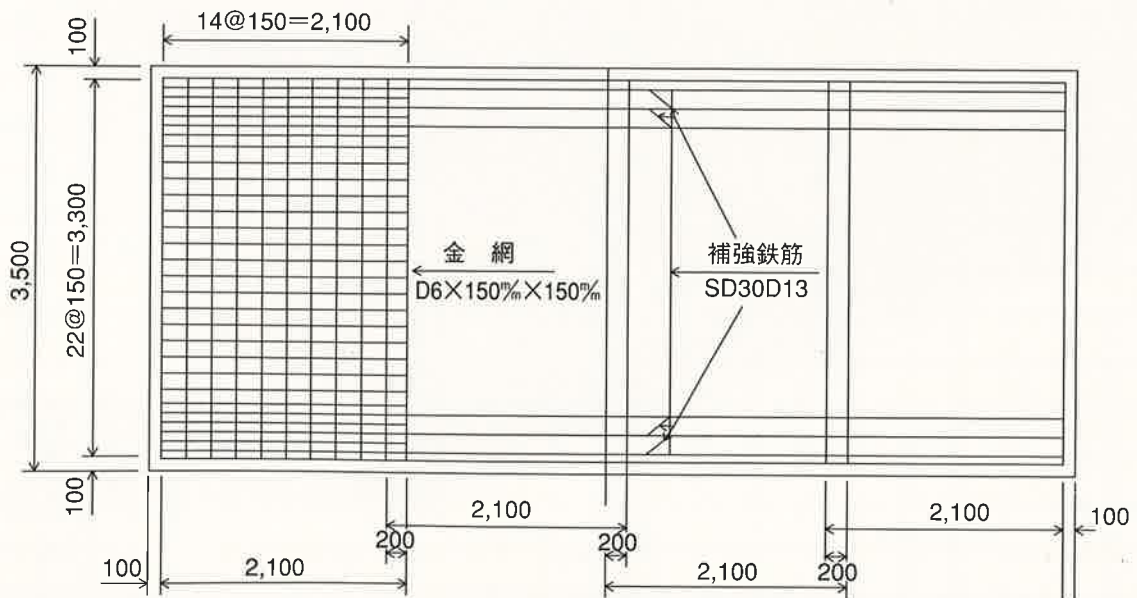


コンクリート舗装のスリッパー、タイバー及び溶接金網配置図(例)

●目地詳細平面図



●溶接金網詳細図





昭和産業株式会社

青森昭和産業株式会社

- 本社 〒036-1325 青森県弘前市一町田字村元832-2 TEL.0172-82-4611
- 弘前事業部 〒036-8326 青森県弘前市藤野2丁目8-1 TEL.0172-38-2611
- 大館作業所 〒018-5751 秋田県大館市二井田字前田野104-50 TEL.0186-43-6080

*特約店